

【基本教育科目/表現力の養成】

科目名		ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英語 リーディング・ライティング			選択	1	2	後期
担当教員		研究室	電子メールID	オフィスアワー		
堤 美智		413	michi.tsutsumi	水曜日 12:20~12:50		
授業の目的・概要		グローバル化が進む現代で、英語で記述された情報を読み取ることは重要である。このクラスでは現代社会の、ニュースなどを使って世界のトピックを取り上げた英文に触れ、自らの英語を磨く。英語をツールとしたリーディング・ライティングのさらなる習得を目指す。また時事問題を通して、各国の文化にも触れ英語力向上のための、英語全般の基礎復習も授業に含む。				
授業形式・方法		<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ブレインション	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 実習・フィードバック
学習上の助言		日ごろから英文を読む機会を持つことを心掛ける。				
教科書		English for Mass Communication 2022 朝日出版				
参考書		英和辞典、英英辞書				
外部教材						
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	多面的な英語ニュースを読むことで理解力を向上させる。			HSU(2)		
②	英語ニュースを時事日本語に移しかえる能力を養う。			HSU(2)		
③	ニュースの基本用語と英語ニュースの語学的特質を理解する。			HSU(2)		
④	語彙力を上げる。			HSU(2)(5)		
⑤						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)			
1	Chapter1: 国内政治 Exercise 1	講義・GW	英語を書ける準備する。教科書を見て、今後の講義に備える。	1		
2	Chapter1: 国内政治 Exercise 2	講義・GW	教科書 Ch1 を読み、問題を解き、復習する。	1		
3	Chapter2: 経済・ビジネス (1) Exercise1	講義・GW	教科書 Ch 2 を読み、問題を解き、復習する。	1		
4	Chapter2: 経済・ビジネス (1) Exercise2	講義・GW	教科書 Ch 2 を読み、問題を解き、復習する。	1		
5	Chapter3: 経済・ビジネス (2) Exercise1	講義・GW	教科書 Ch 3 を読み、問題を解き、復習する。	1		
6	Chapter3: 経済・ビジネス (2) Exercise2	講義・GW	教科書 Ch 3 を読み、問題を解き、復習する。	1		
7	Exam1、第1回から第6回までの講評(1)	講義	テストから自分の弱い箇所を復習する。	1		
8	Chapter4: 外交・国際会議 Exercise 1	講義・GW	教科書 Ch 4 を読み、問題を解き、復習する。	1		
9	Chapter4: 外交・国際会議 Exercise2	講義・GW	教科書 Ch 4 を読み、問題を解き、復習する。	1		
10	Chapter6: 海外政治情勢 Exercise1	講義・GW	教科書 Ch 6 を読み、問題を解き、復習する。	1		
11	Chapter6: 海外政治情勢 Exercise2	講義・GW	教科書 Ch 6 を読み、問題を解き、復習する。	1		
12	Chapter7: 文化・社会 Exercise2	講義・GW	教科書 Ch 7 を読み、問題を解き、復習する。	1		
13	Chapter7: 文化・社会 Exercise2	講義・GW	教科書 Ch 7 を読み、問題を解き、復習する。	1		
14	Chapter12: 人口・労働問題 Exercise 1・2	講義・GW	教科書 Ch12 を読み、問題を解き、復習する。	1		
15	Exam2、第7回から第14回までの講評(2)	講義	これまでの小テストを学びなおす。	1		
試	定期試験は行わない					

【基本教育科目/表現力の養成】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		25	50	0	0	25	100
総合力指標	知識・技術力	20	30	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	5	0	0	5	10
	取組みの姿勢・意欲	0	5	0	0	20	25
問題を発見・解決する力		5	0	0	0	0	5
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	試験：小テスト2回の試験を授業内で行う。				試験内容の評価・添削
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	レポート：4つの課題を与える。 評価：課題に沿った内容について、馴染みのない単語やフレーズを試みた努力がみられること。				4つのレポート評価・添削
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業に臨む姿勢として、貢献度(発言・態度)により加算する。				評価・添削
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他担当教員							
教員の実務経験	担当する教員は、大学における英語教育経験を9年以上有したものである。						
実践的授業の内容	本講義の到達目標はナチュラルな英会話で必ず行われている音の連続(リエゾン)や音の消失(リダクション)を理解できるようにする。具体的には時事や日常会話を踏まえ、2つまたは3つの語をつなげて、1つのかたまりのように「音の変化」を発音できるようにする。						
その他	参加・コミュニケーション力を評価するため授業を欠席した日の評価は0点とする。シラバスは将来変更される可能性があるため、注意すること。また感染拡大を防ぐために自身のマスクが必要になる。マスクをもっていない学生は入室不可。						